

令和3年6月27日執行

福岡県議会議員選挙

(宮若市・鞍手郡選挙区)
(選挙すべき議員の数 1)

選挙公報

投票日 6月27日

福岡県選挙管理委員会

まずはコロナ対策に全力

・感染拡大防止策の拡充 ・医療提供体制の整備 ・地域経済の立て直し

個人や事業者を応援

・商業や農業の販売促進 ・教育環境格差の是正 ・文化観光事業の後押し

安心・安全な街づくり

・災害に強いインフラ整備 ・皆に平等な福祉の提供 ・人権や多様性の尊重

発展と挑戦を分かち合う

・若者の住いや雇用の支援 ・筑豊全体での利益の創出 ・九州を牽引する福岡県に

1 地元育ちと郷土愛

私は小竹町に生まれ、この地の温かな人と豊かな自然の中で育ちました。また、母校である鞍手高校では多くの仲間や恩師にも恵まれました。その方々が住む宮若市・鞍手町も私にとって大切な郷土です。

3 家族と地域と共に

私は小竹町の実家で両親と妻と子ども3人(7月に4人目)で暮らしています。若者から高齢者までの「この地に住み続けたい」「この地で働きたい」という声を県政の場に届け、カタチにしていける責任が私にはあります。

2 国会議員秘書の経験

大学時代から政治家を志し、卒業後は自民党の山本幸三 衆院議員の秘書を約10年(私設5年・公設4年半)務め、様々な課題に取り組みました。住民の生命と財産を守ることこそが政治家の最大使命であることを肌で学びました。

4 挑戦し変革する世代

現代は技術や価値観が急速に進展しています。介護や子育てに直面していく我々の世代が、より良い社会を創っていくよう挑戦を重ね、変革を起こしていかなければなりません。そのために、私は今も大学院で学び続けています。

郷土を守る責任世代。



福岡県議会議員候補
花田尚彦 35歳

プロフィール

昭和61年(1986年)5月14日小竹町生まれ(O型)
福岡県立鞍手高等学校普通科(57回生)卒業
北九州市立大学 法学部 政策科学科 卒業
衆議院議員 山本幸三 秘書(私設5年、公設4年半)
九州大学大学院 経済学府(ビジネススクール) 在学中

福岡県と宮若市・鞍手町・小竹町を繋ぐ!

県民を守る! コロナ対策 経済を守る!

1 地域経済の安定化 に向けて以下の取り組みを行います

- 医療・介護職で働く方への経済的支援
- コロナ感染防止対策での影響を受けたり、事業の、多角化や業種変更をする事業者への融資支援
- コロナ感染防止対策での影響で離職を余儀なくされた方への融資や再就職活動の支援
- テレワークや非対面ビジネスの環境整備の促進
- 飲食店が社会的距離を保ちながら公共スペースを使って営業を出来るようにする仕組みなどの構築

2 全世代が少しでも早くワクチンを接種する ために以下の取り組みを行います

- 離職している医師や看護師が安心して接種に協力できるように託児所を設置するなどの提案
- 時間外や休日に接種をする医療機関の拡充を支援

かわぐち誠 プロフィール

■ 生年月日/昭和40年7月1日生まれ 55歳
■ 住 所/宮若市磯光1269-30
■ 職 歴/宮田町議会議員 1期
宮若市議会議員 4期

18年の議員生活で培った人脈を活用し、国・福岡県と宮若市・鞍手町・小竹町とのパイプ役として地域の発展と安心して暮らしていけるまちづくりの実現に向けて頑張ります。

福祉

- 子育てと仕事の両立を支援
- 高度先進医療等の保険適用外治療の助成
- シニア世代が生き生きと活躍するための就業支援
- 障害のある方の自立と社会参加のための支援
- 障害のある方の自信や生きがいの創出と人材不足に悩む農業者の経営の安定を両立する農福連携事業の推進

防災

- 急傾斜地崩壊危険区域内の崩壊防止工事の推進
- 河川・水路の整備や治山などの事前防災の推進
- 避難所の迅速な開設や住民に分かりやすい避難標識の設置などの避難体制の推進

産業

- 米のブランド化の推進
- 特産品の県外販路の拡大事業への支援
- 農業機械導入の補助金など、各種支援の更なる充実
- 中小企業の経営支援や起業・事業拡大への支援

交通観光

- 幹線道路の利便性の向上
- 日常生活に不可欠な生活交通手段の確保
- 文化財や産業遺産など、地域の宝を観光資源として活用しながら後世に受け渡す体制作り



福岡県議会議員候補
かわぐち誠 まこと

令和3年6月27日執行

福岡県議会議員
補欠選挙

(宮若市・鞍手郡選挙区)
(選挙すべき議員の数 1)

選挙公報

投票日 6月27日

福岡県選挙管理委員会

コロナ危機から 命と暮らしを守る県政を

だれ一人取り残さない



中村きよみ

福岡県議会議員候補
なかむら

日本共産党

▼本気のコロナ対策を

介護施設、医療機関などでのPCR検査（社会的検査）を定期的に行うとともに、学校や保育所などでも行うべきです。迅速・安全なワクチン接種、保健所の体制強化も欠かせません。

休業や時短にみあった協力金や給付金を充実させ、事業を続けられるような支援を提案します。国に2回目の「持続化給付金」を要求します。

▼ケアに手厚い福岡県へ

- 高すぎる国保、介護保険の負担軽減
- 医療・介護・保育・障害福祉で働く人の処遇改善
- 地域医療をになう公立・公的病院を守る
- 75歳以上の窓口負担2倍化の実施中止を国に求める



▼ジェンダー平等を推進

いまの県議会は86人中、女性議員はわずか9人。ジェンダーギャップ指数120位の日本の現状を変える時です。女性の声をまっすぐ県政へ届けます。

- 男女賃金格差の是正
- 性暴力対策強化
- 「生理の貧困」対策として生理用品の無償配布

県も国もコロナ感染封じ込めに失敗し、医療危機をくりかえし、飲食店や事業者にもまともな補償もなく休業をおしつける一方で、中止の声が高まるオリンピックにつきすすむ—こんな政治を続けていいのでしょうか。私は「先が見えない」と廃業した業者や、後継者に悩む農家を見ました。命と暮らしを守るため、地域の声を県政へ届けてがんばります。

プロフィール ●1959年直方市植木生まれ。植木小・中学校卒業、筑豊高校中退。
●民間企業勤務を経て、自営業20年。●直轄民主商工会事務局、若宮農民組合(事務)。

投票日 6月27日

◆ 投票日当日の投票時間は、午前7時から午後8時までです。

◆ 新型コロナウイルス感染症対策のお願い

・ 期日前投票の積極的活用

・ マスク着用ほか咳エチケット、健康確認（検温等）

※投票所では、みなさんが安心して投票できるよう、換気や消毒等の安全対策を実施しています。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。